

# 未来会議だより

令和3年5月1日発行

発行 栄東地区まちづくり未来会議

(TEL711-2203)

栄東地区まちづくり未来会議

検索



--令和3年4月1日(木)--

## 栄東まちづくりセンター、 自主運営がスタートしました



▲センター前に新看板を掲出する菊地代表

4月1日から栄東まちづくりセンターの自主運営がスタートしました。令和2年度まで、札幌市職員が従事していたセンターの運営を栄東地区まちづくり未来会議が担うものです。地域のまちづくり活動を実践している団体が担うことで、これまで以上に効果的、効率的な活動支援を目指してまいります。

なお、同未来会議は、平成16年に子どもの健やかな成長を願い、子どもにかかわる地区の活動団体・機関が設立しましたが、活動を安全安心、子ども、高齢者と範囲を拡大したことにより、同日付で栄東地区子ども未来会議から「栄東地区まちづくり未来会議」に改称しています。

--令和3年4月6日(火)--

## 強い風と寒さの中、 交通安全を願い、栄町で街頭啓発

4月6日(火)から15日(木)までは春の交通安全市民総ぐるみ運動期間でした。初日、地下鉄栄町駅交差点では、栄東地区交通安全運動推進委員会(小倉利彦会長)や交通安全母の会(杉澤靖子会長)、栄東連合町内会役員など約40名が、あいにくの強い風や寒さの中、交通安全を呼びかけました。

運動期間中の重点は、「子どもと高齢者を始めとする歩行者の安全の確保」「自転車の安全利用の推進」「歩行者等の保護を始めとする安全運転意識の向上」などで、雪解け後、スピードを出しすぎる傾向にあり、ドライバーをはじめ、歩行者も緊張感を持って、交通安全を心がけることが大切です。

▼交通安全を呼びかける参加者たち



なお、街頭啓発には、東区の小田原区長をはじめ、札幌方面東警察署の尾崎署長も駆けつけて、参加された皆さんに労いの言葉をかけていました。同日は、小学校の入学式の日でもあります。1人ひとりが交通ルールを正しく守り、思いやりのある交通マナーで、交通事故死ゼロを目指しましょう。

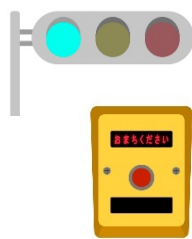
--令和3年4月6日(火)--

## 新1年生通学の安全を守る。 母の会と指導員

4月6日は小学校の入学式で、今年新1年生になった児童も笑顔で登校しました。

栄東地区交通安全母の会と東区交通安全指導員会栄東支部では、町内会女性部の協力も得て4月15日まで通学に慣れない新1年生の交通安全を守るため、通学路の街頭に立ち黄色い横断旗を持って安全指導をしました。

はじめは、PTAのお父さんお母さんやお兄さんお姉さんと手を繋いで通学しますが、早く交通ルールを身につけてもらうことが大切です。母の会や交通安全指導員の皆さんも子どもたちに優しく声をかけながら、安全な横断をサポートしています。



街角では、「おはようございます」と街頭指導のメンバーと小学生の可愛らしい元気な挨拶が響きます。子どもたちの安全は、学校はもとより地域全体で守るという栄東地区の伝統が毎年受け継がれている1コマと言えましょう。

--令和3年4月7日(水)--

## 新型コロナ下でも民主プロセスを大切に。 連町役員会が総会議案を審議

日の丸会館で栄東連合町内会の役員会が開催されました。これは、5月12日(水)に開催される定期総会の議案を審議するものです。

すでに3月の町内会長会議で了承されていますが、特に異論はなく、原案どおり決定されました。今回は、事前に議案の疑問点、意見をいただき、総会の日には回答集を配布して、総会の審議時間を短時間にする試みに加え、本来114名の定数を50名程度の出席に絞るため、委任状の活用をお願いしての開催となります。

短時間でも事前に内容をよく理解できるよう配慮し、事前質問も担保していますので、人数を絞ってもきっと中身の濃い総会になることでしょう。新型コロナ下にあっても民主的なプロセスを大事にした試みです。

--令和3年4月7日(水)--

## 3年度総額1300万円余の 事業計画・予算を決定

栄東地区まちづくり未来会議は、構成員のうち団体の中核メンバーで経営責任を負う27名の最高意思決定機関である運営委員会を組織しています。この日、委員会が開催され、令和2年度の事業報告・収支決算のほか、令和3年度事業計画、収支予算が審議され原案どおり可決されました。

まちづくりセンターの運営経費や事業計画予算は総額1300万円余と地域としては大きな予算になります。主な事業としては、「防災体制構築事業」「地域の伝統行事復活プロジェクト事業」「子育てサロン充実事業」「高齢者等健康づくり事業」「高齢者の居場所、サロンづくり事業」などの新規事業のほか、「ICT活用による情報発信事業」「ひのまるちびっ子なつまつり」「花いっぱいプロジェクト」「雪まつりウエルカム事業」などの既存事業にも取り組む計画です。